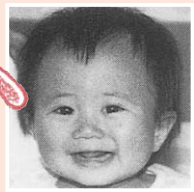




本紙の赤ちゃん紹介コーナー「1歳になりました」は、昭和63年8月にスタートし、これまで3,900人の子供たちを掲載してきました。ここでは、新成人3人を当時の写真と合わせてご紹介します。



あやか
箱石彩夏さん
(大沢出身)

成人式を迎え、今まで育ててくれた家族のみんなに感謝しています。現在は芸術関係の学校で油絵について学んでおり、将来は芸術方面で自立できるよう頑張りたいです。



ゆうき
中村裕貴くん
(飯岡出身)

大人となるこの日を迎え、自分もここまで来たんだと実感しています。神奈川県でレスリング部に所属し、来春のインターカレッジでのタイトル取得に向け、日々練習に打ち込んでいます。



えり
佐々木えりこさん
(豊間根出身)

東京六本木のレストランで働いて2年目となります。お客様にふさわしい飲み物の提供など質の高い接客についてこれから学んでいながら、自分自身にも磨きをかけていきたいです。

平成23年 町成人式



飛躍を胸に新たな門出

1月9日、平成23年の町成人式が町中央公民館大ホールで開かれ、新成人155人が参加しました。主催者を代表して沼崎喜一町長が「皆さんがこれまで学んできたことに自信を持ち、若さをエネルギーにして人生の荒波を乗り越えてください」とあいさつ。その後、佐藤彰さん(船越)が力強く町民憲章を読み上げました。

昆暉雄議長の祝辞に続き、新成人を代表して貫洞葵さん(長崎)が、「今まで支えてくれた皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、責任ある社会人として後悔しない人生を歩んでいきましょう」と『二十歳の決意』を述べました。

記念講演では、新成人の中学校時代の恩師、長谷川勝さん(豊間根中教諭)と菊池傑さん(前山田中教諭・現遠野中)が、当時の思い出を織り交ぜながら大人になった皆さんに祝福と励ましの言葉を贈りました。

その後は城内スタジオと阿部スポーツから寄贈されたデジタルカメラやスポーツタオルなどが当たるプレゼント抽選会が行われ、会場は和気あいあいとした雰囲気になっていました。



貫洞葵さんが二十歳の決意を述べました



町民憲章を読み上げる佐藤彰さん